

## 第130回 創薬科学セミナー

日時：2020年12月2日(水曜日) 17:00～18:30

場所：創薬科学研究館2階 講義室 + Zoom配信

対象：学部生・大学院生

先端薬科学特論：単位認定講義

Zoom接続をご希望の方は  
クリックしてメールアドレス  
を登録ください！  
登録URL

講演タイトル：

『他分野連携による”ありふれた”ウイルス (EBウイルス) の理解』

講師：

名古屋大学医学系研究科

微生物・免疫学講座ウイルス学・講師

JSTさきがけ(兼任)

佐藤 好隆 博士

EBウイルス (Epstein-Barrウイルス; EBV)は、成人の90%以上が抗体を保有しており、最も広く浸淫しているウイルスの一つである。発見からすでに50年が経過しているが、その性質や細胞内での挙動は未だ不明な点も多い。たとえば、病因ウイルスとそれがもたらす疾患は、ほとんどが1対1の関係にあるが、EBウイルスは腫瘍性疾患(治療が必要な悪性腫瘍を含む)だけでなく伝染性単核症(一過性のウイルス血症で治療なしに自然寛解する良性疾患)の原因にもなる。このEBウイルスを包括的に理解するためのCRISPRスクリーニング、シングルセル解析、組換えウイルス技術など他分野連携について紹介したい。

ネオウイルス学という領域が広がりにつつある  
ウイルスの最先端研究やシングルセル解析について  
ご講演いただきます。  
奮ってご参加ください！

連絡先：創薬科学研究科 加藤竜司 (kato-r@ps.nagoya-u.ac.jp)